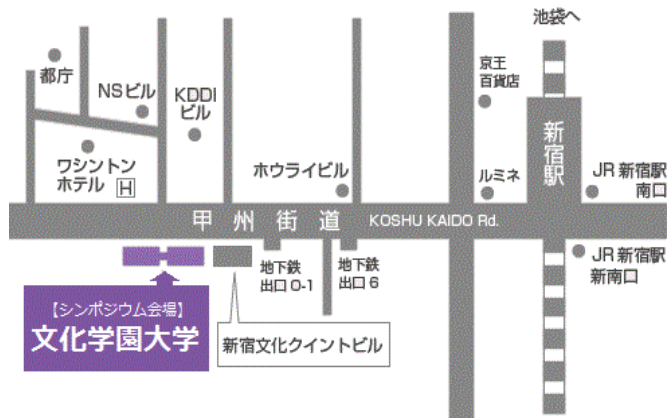


第50回洗淨に関するシンポジウム記念大会

主催 (公社) 日本油化学会 洗淨・洗剤部会
共催 日本家政学会、繊維学会、日本繊維製品消費科学会、色材協会
日時 平成30年8月30日(木)～31日(金)
会場 文化学園大学 20階大ホール〔東京都渋谷区代々木3-22-1〕



【最寄駅】新宿駅

JR線(山手線・中央線・総武線・埼京線・湘南新宿ライン)
地下鉄(都営新宿線・都営大江戸線・丸の内線)
小田急線、京王線

【行き方】新宿駅南口(甲州街道改札)より
甲州街道を初台方面へ徒歩7分

※詳しくは、文化学園大学ホームページ
<https://bwu.bunka.ac.jp/access/> をご覧ください。

記念大会 概要

招待講演、記念講演Ⅰ、記念講演Ⅱ、部会特別講演およびポスター展示を行います。
本大会のテキスト(要旨集)と「洗淨に関するシンポジウム50回記念論文集」を配布します。

参加費 (50回記念誌及び要旨集代を含む(税込))

	予約	当日
洗淨・洗剤部会員	12,000円	13,000円
本会 ^{*1} 正会員	13,000円	14,000円
本会 ^{*1} 法人会員	15,000円	16,000円
協賛学会員	15,000円	17,000円
Co-メンバー ^{*2}	15,000円	16,000円
会員外	18,000円	20,000円
学生	5,000円	6,000円

^{*1} 日本油化学会 ^{*2} Co-メンバー登録費用(1,000円)を含む

「Co-メンバー」のご案内

洗淨・洗剤部会では学会活動活性化の一環として「Co-メンバー」制を導入しています。
日本油化学会会員以外の方を対象として、当部会関連情報の配信や本シンポジウム及び当部会開催セミナー参加費の割引が適用されます。
Co-メンバー資格は次回シンポジウムまで(約1年間;年会費1,000円)です。是非、ご入会ください。

なお、日本油化学会会員の方は、この機会に是非、「洗淨・洗剤部会」にご入会下さい(無料)。

50回記念パーティー 8月30日(木) 18時30分より

京王プラザホテル〔東京都新宿区西新宿2-2-1〕 4階 ホール「花」立食パーティー
会費: 一般6,000円、学生3,000円

申込方法 本会告末に添付の申込書に必要事項明記の上、下記申込先にe-mailまたはFAXでお送り下さい。
(葉書に必要事項をご記入の上、郵送下さっても結構です。)
参加費は申込み締切日までに銀行振込にて前納して下さい。
当方にて振込が確認できなかった場合、振込用紙を提示していただく場合がございます。
なお納入された参加費は返金いたしかねますので、予めご了承下さい。

銀行振込: **三井住友銀行 日本橋東支店 普通預金口座 7697594**
口座名義 **日本油化学会 洗淨洗剤部会 (ニホウガケイ センゾウセザイブウカイ)**
*カタカナでの振込先入力が必要な際にはご注意ください。

申込〆切 平成30年8月10日(金)

申込・問合せ先 公益社団法人 日本油化学会 洗淨・洗剤部会 事務局
ライオン(株) リビングケア研究所 兵藤 亮(ひょうどう りょう)
〒132-0035 東京都江戸川区平井7-2-1
e-mail: senjou-senzai@senjou-senzai.sakura.ne.jp FAX 03-3616-5376

【プログラム】

1日目 8月30日(木) 会場:20階大ホール

10:00～10:50 洗淨に関するシンポジウム第50回までの歩み／最近の洗淨研究・洗剤技術の動向

洗淨・洗剤部会長 (文化学園大) 米山 雄二 氏

10:50～12:00 <招待講演> 「洗剤・洗淨研究の回顧－時代背景の視点から－」

((一財) 洗濯科学協会) 永山 升三 氏

洗剤の基礎となる界面化学の研究は、20世紀初頭にはじまり、その進歩を追うように界面活性剤の合成研究が行われてきた。それらの社会背景は、戦時下における情報交流の断絶時代から最近のサイバー空間の活用を伴う時代では研究環境には隔絶の感がある。洗淨の対象や消費者のニーズの変化を含め、時代背景に視点を置いて解説します。

－ 昼食休憩 1時間40分 －

13:40～14:50 <記念講演 I > 「洗淨・洗剤部会の活動をふりかえって」

(元 花王) 鈴木 哲 氏

(横浜国立大) 大矢 勝 氏

1952年に日本油脂化学協会(現 公益社団法人日本油化学会)内に設置された「洗淨力試験法委員会」が洗淨・洗剤部会の前身である。そこでの検討結果や関連する研究成果の発表・議論の場として開催された「洗淨に関するシンポジウム」も今回で50回目を迎える。これまでの活動をふりかえることで今後の洗淨研究の進むべき道、部会のあり方を産学の各々の立場から考えます。

14:50～16:50 － 休憩 & ポスター展示セッション － (オリジナルレポート討論時間目安 15:10～16:40)

今回は記念大会としまして、全てのオリジナルレポートは、ポスターにてご発表いただきます。また、それ以外に「洗淨洗剤部会・特別展示」、「企業の展示コーナー」、「学会や関連業界の展示コーナー」を特別に設けております。

16:50～17:40 <部会特別企画> 「持続可能な社会を目指す企業活動を考える」

(花王) 山田 勲 氏

(ライオン) 蓼沼 裕彦 氏

地球環境はいま、温暖化、生物多様性、化石燃料・鉱物資源の枯渇、環境汚染などの問題が山積しており、解決への道は平坦ではない。環境問題をどう理解し、これまでどのように取り組んできたかを企業の枠組みを超えて示すとともに、商品開発を通じて人々の生活(健康、快適、清潔、安心、環境など)の質を、どのように高めることができるのかを考えます。

18:30～ 洗淨に関するシンポジウム 50回記念パーティー

2日目 8月31日(金) 会場:20階大ホール

9:00～12:00 および 14:00～17:00

<記念講演 II > 「洗淨洗剤分野の進歩と展望～これからの高付加価値技術・環境技術を考える～」

持続可能な低炭素経済への移行のため、新たな技術パラダイムへのシフトに期待が集まっている。求められているのは高度な環境技術と顧客ニーズへのきめ細かな対応による競争力強化である。

記念講演 II では、環境保全と経済成長が両立した持続可能な産業・社会の構築を実現するために、これまでの洗淨洗剤分野の高付加価値技術・環境技術を踏まえ、さらに高度な環境技術の進展、競争力の高いビジネス展開、国際展開等の点から、未来の方向性やあり方を提示していただける内容となっています。

9:00～ 9:55 企業におけるSDGs実施の最新動向と経営への統合のあり方
((公財) 地球環境戦略研究機関) 小野田 真二 氏

9:55～10:50 サステナブルな洗浄から未来へのメッセージ
(日本石鹼洗剤工業会) 西條 宏之 氏

－ 休憩 & フロアディスカッション 15分 －

11:05～12:00 水系でどこまで洗えるか
((独法) 国立高等専門学校機構 奈良工業高等専門学校) 後藤 景子 氏

12:00～14:00 **－ 昼食休憩 & ポスター展示セッション －** (オリジナルレポート討論時間目安 **13:00～14:00**)

14:00～14:55 家庭用電気洗濯機のあゆみ
(パナソニック) 藤井 裕幸 氏

14:55～15:50 今押さえるべき世界の洗濯洗剤市場動向
(ユーロモニターインターナショナル) 山口 大海 氏

－ 休憩 & フロアディスカッション 15分 －

16:05～17:00 The trend and development of home care in emerging economies
(BASF (China) Company Ltd.) Jianwen Mao

<ポスター展示セッション/オリジナルレポート> 会場: 20階 スペース 21 (20階大ホール 向かい)

討論時間 8月30日(木) 15:10～16:40、8月31日(金) 13:00～14:00

1. 無極性油汚れの洗浄試験に適したトレーサーの探索 (横浜国大) ○田中将貴、大矢勝
2. ビシニコニン酸を用いたタンパク質人工汚染布の発色反応への共存物質の影響
(東京学芸大^{*1}、北海道教育大(非)^{*2}、北海道東豊高^{*3}) ○森田みゆき^{*1}、谷道子^{*2}、春木心^{*2}、横山理恵^{*3}
3. 確率密度関数法による洗浄における相乗作用の判定 (横浜国大) ○谷口庸介、大矢勝
4. Hansen 溶解度パラメータ(HSP)による各種汚れの洗浄性予測 (ダウ・ケミカル日本) ○古谷昌樹
5. 難除去性汚れに対する新洗濯方法の開発とその洗浄メカニズムについて
(ライオン) ○岡崎志穂、伏谷将典、渡辺英明、天谷友彦、河野洋一郎、増井宏之
6. 洗濯洗剤における抗菌、防臭効果 (P&G ジャパン) ○大谷良平
7. ナチュラルクリーニングの洗浄性に関する研究 (横浜国大) ○大熊俊稀、大矢勝
8. 特殊電解還元水を用いたつけおき洗浄に関する研究
(東京家政大) ○葛原亜起夫、歌川優希、植木美波、井坂歩美
9. 全自動洗濯機用マイクロ・ナノバブル生成器の有無が洗浄性に及ぼす影響
(日本女子大) ○増子富美、田中沙貴、美谷千鶴、榎本一郎
10. ファインバブルを用いた布の洗浄性 (茨城大) ○木村美智子
11. ファインバブルの界面活性剤除去能力 (横浜国大) ○恒川弥子、大矢勝
12. 洗浄試験機を用いた洗浄力試験の再現性 (文化学園大) ○角田薫、小林朋子、米山雄二
13. 衣料のニオイ悩みの実態と柔軟仕上げ剤の消臭効果について
(ライオン) ○森田耕平、永元しのぶ、井上亮、橋本恵美子、小倉英史、増井宏之
14. 綿布およびマーセル化綿布に対する天然由来土顔料の付着挙動
(北海道教育大^{*1}、奥尻中^{*2}、東京学芸大^{*3}) ○小松恵美子^{*1}、田澤紫野^{*2}、森田みゆき^{*3}

15. 衣類汚れの各国での調査とそれに対する酵素の利用
(ダニスコジャパン)○榎村猛伯、中村亜紀子、Lynn Meng、Arjen Hoekstra、
Madhukar Kulkarni、Van Heeswijk Annemarieke
16. バスルームに付着する汚れの分析
(横浜国大^{*1}、パナソニックエコシステムズ^{*2})○飯田恵里沙^{*1}、野間真二郎^{*2}、松本唯^{*2}、大矢勝^{*1}
17. 掃除負担軽減を狙った浴槽ケラチン汚れ除去技術の検討
(ライオン)○大浦北斗、渡邊洋介、川崎亜沙子、小熊友一、兵藤亮、上村慎一郎
18. 天然洗浄成分ソホロリピッド[®]を配合した医療器具用洗浄剤の応用
(サラヤ)○謝花喜史、尾田友香、川向恵美子、平田善彦
19. ソホロリピッド[®]の泡状吐出洗浄剤への応用とその性質
(サラヤ)○木下和拓、ヤダヴウーメイシュ、竜瑞之、一柳尚毅、平田善彦
20. 次世代の防腐剤・防腐剤ブースターの紹介 (クラリアントジャパン)○堀祥子、堀内武士、榎本浩二
21. 溶剤を使用しない高濃度アニオン界面活性剤水溶液の調製 (花王)○田渕友季子、坂井隆也
22. アミドアミノキンド型界面活性剤の増粘挙動に対するプロトン化の効果 (大阪技術研)○懸橋理枝、東海直治

※ポスター展示セッションでは、上記オリジナルレポートのほかに、洗浄・洗剤部会の歩み、洗剤／洗濯機の変遷や、当部会に関連の深い企業・業界団体・学会・大学等による展示コーナーを設ける予定です。

第50回洗浄に関するシンポジウム記念大会申込書

e-mail: senjou-senzai@senjou-senzai.sakura.ne.jp FAX 03-3616-5376

日本油化学会 洗浄・洗剤部会 事務局 ライオン(株) リビングケア研究所 兵藤 亮 行

第50回洗浄に関するシンポジウム記念大会・参加申込書			受付番号 (学会記入欄)
ふりがな 氏名		会員番号	所属学会
勤務先			
勤務先所在地 または連絡先	〒		TEL
	e-mail		FAX
参加費 該当に○	洗浄・洗剤部会員 12,000円、本会 ^{*1} 正会員 13,000円 本会 ^{*1} 法人会員 15,000円、協賛学会員 15,000円 Co-メンバー ^{*2} 15,000円、会員外 18,000円 学生 5,000円		合計 _____円
懇親会	出席する(一般 6,000円、学生 3,000円)、欠席する		

^{*1} 日本油化学会 ^{*2} Co-メンバー登録費用(1,000円)を含む